## 玉 0 九 の政治指導者にとって悲願である。 玉 家目 八 四 年の中英共同声明で香港返還 1標の一 つであ b, 歴代 0 中

袓

玉

統

は中華人民共和

国 中

国

## アジア経済研究所研究員



6相克と課題

にも適用するという統一の 度」を香港で実施し、 プを描いた。だが、 香港と台湾をめぐ 後にこれ 口 1 F マ

周

知のとおり、

本年六月の

香

港

国家安全維持法」導入によって鄧

の道筋をつけた鄧小平は、 を台湾 国 制

る政治的緊張は、

急速に高まってい 習近平政権のもとで ①香港 あなたはどこへ向かうのか

阿古智子・著 出版舎ジグ、2020年

②台湾総統選挙

小笠原欣幸・著 晃洋書房、2019年

③民主主義とは何か

宇野重規・著 講談社現代新書、2020年

4 独裁の政治思想

猪木正道・著 角川ソフィア文庫、2019年(初刊 1961年)

⑤ 中国」の形成-一現代への展望

シリーズ中国の歴史⑤ 岡本隆司・著 岩波新書、2020年

で、バランスよい議論を展開する。で、バランスよい議論を展開すると同時香港住民の目線から説明すると同時のフィールドワークやインタビュー記のフィールドワークやインタビュー記の方に対する鋭い問題提起が特徴的でと、随所に織り込まれた国家権力の在と、随所に織り込まれた国家権力の在と、随所に織り込まれた国家権力の在め方に対する鋭い問題提起が特徴的であるが、客観的な解説を通常を表している。

すい。また民主主義の実施(総統直接年から二〇一六年までの五回の選挙動向を詳述しており、その情報量に圧倒向を詳述しており、その情報量に圧倒されるものの、豊富な現地調査に基づされるものの、豊富な現地調査に基づ

これに対し②は、①も取り上げた台

興隆をもたらし、その結果が再び選挙

が「台湾アイデンティティ」の

リン独裁とヒットラー独裁を主題に、の主題となる独裁だ。④は、スター

ローマの独裁や古代ギリシアの僭主制

山純三賞学術書賞を受けるなど学術的に富む。アジア・太平洋賞特別賞と樫結果に反映されていくとの議論は示唆

にも高く評価されている。

小平のロードマップは崩壊し、香港社

す一助としては、古代ギリシアの政治である。民主主義を包括的に学びなお台湾で定着した民主主義をめぐる相克の大国として力を増す中国と、香港・の大国とのに共通する論点が、権威主義

が少なくない。

哲学から代議制民主主義をめぐる論争

また民主主義の対極にあるのが、④ また民主主義の成立のためには広範な市民によ主義の成立のためには広範な市民によら政治参加と政治活動に付随する責任の双方を担保すること(「参加と責任のシステム」)が重要であり、民主主義はいまだ制度化の途上だと説く。

ど、中国の現状を思い起こさせる記述力の再生を理由とする権力の集中」な裁は政治的正当性を要する」「国家権る。初版は一九六一年刊行だが、「独検討し、独裁について多角的に考察すから各種の政治理論の展開まで詳細にから各種の政治理論の展開まで詳細にから各種の政治理論の展開まで詳細に

供してくれるだろう。

現状を理解するうえで重要な観点を提

感じさせる好著である。香港と台湾の

## **島田 剛**明治大学准教授





いる。彼らは香港に住み、中古の車やに多くのタンザニア商人がたむろして慶大厦)は香港の安宿のビルで、ここじである。チョンキンマンション(重じである。チョンキンマクダならぬ感

商人の手伝いや、

時には違法な商売も

衣服を飛行機でタンザニアに持ち込む

している。

著者はこのマンションに住

み込んで調査をし、その体験談だけ

ともに考える必要がある。

は、

グロー

ル化した世界のあり方と

る現在の

ーバル化アフリカ

フリカ大陸だが、

の課題を読み解くに発展と停滞が交錯す

·最後のフロンティア」

と呼ば

れるア

① チョンキンマンションのボスは知っている 一アングラ経済の人類学 小川さやか・著 春秋社、2019 年

② **ヴェニスの商人の資本論** 岩井克**人・**著 ちくま学芸文庫、1992 年(初刊 1985 年)

③ グローバル・バリュー・チェーン —新・南北問題へのまなざし 猪俣哲志・著 日本経済新聞出版、2019 年

- ④ プログレッシブ・キャピタリズム ジョセフ・E・スティグリッツ・著 東洋経済新報社、2020年
- ⑤There Is No Free House: Ethnic Patronage in a Kenyan Slum Benjamin Marx ほか著 Applied Economics, Vol. 11, No.4、2019年

も十分に面白い。

しかし、この本をより魅力的にしているのは、一見、理解できないタンザいるのは、お互いに金儲け(資本主義経いを知らず、相手が悪事に手を染めていても、お互いに金儲け(資本主義経いても、お互いに金儲け(資本主義経いでも、お互いに金儲け(資本主義経いがとの指摘である。

にとっては今後、どうやってGVCに

問いが提示される。答えは「その他」中国製か、それともその他か」というアフリカを理解する鍵になるだろう。アフリカを理解する鍵になるだろう。

ある。そしてそれと表裏にさまざまなVC)で結ばれた世界の構造は複雑でグローバル・バリューチェーン(Gがローバル・バリューチェーン(Gである。カリフォルニアでデザインさ

格差が国の内外に拡大し、グローバル

を受けている。こうした中、アフリカ出てきてしまった。また、その反動と出てきてしまった。また、その反動と出てきないまった。また、その反動と出てきないまった。また、その反動と

参入できる自国産業を育成するのかを リカにとって成長のネックになる。 リカにとって成長のネックになる。

シャイロック)。この共同体と金儲け

をめぐる考えの違いは、

現在の世界と

る大きな懸念の一つは、知的財産権にる大きな懸念の一つは、知的財産権にいいが開発された時、その価格が独占的に決まるとすれば高価なものとなり、に決まるとすれば高価なものとなり、に決まるとすれば高価なものとなり、に決するとすれば高価なものとなり、本来は別な支援に使えた資金が少なく本来は別な支援に使えた資金が少なくなってしまう。

近年、研究手法として注目が高まっているのが、衛星画像の活用である。 でいるのが、衛星画像の活用である。 り(家賃は高く、質の低い住宅になる)、り(家賃は高く、質の低い住宅になる)、り(家賃は高く、質の低い住宅になる)、がにした。新型コロナの影響で現地調かにした。新型コロナの影響で現地調かにした。新型コロナの影響で現地調かにした。新型コロナの影響で現地調かにした。新型コロナの影響で現地調かにした。新型コロナの影響で現地調かにした。 新型コロナの影響で現地調ができない今、衛星画像を活用した

ようになるだろう。